

楽しく学び つながり 活かす 生涯学習



はむらの 教育

特集 「新種知蔵の歴史」
『文化の秋 絵巻の裏と新種』(2017年11月)



▲郷土博物館の展示の様子



▲図書館でのお話し会の様子

図書館を支えるボランティアの皆さんを紹介します

図書館は本を借りるところという事は知っていますよね。
実は、この図書館の運営には、大勢のボランティアの皆さんの協力が活かされています。



◆配架ボランティア

～図書館の本をきれいに並べます～

毎週火曜日、朝9時から、開館前の図書館に配架ボランティアのグループ「本棚」の皆さんが集まります。

「本棚」が生まれたのは、およそ20年前で、図書館の事業のため、お手伝いの募集の呼びかけに集まった人たちが自主的にグループを立ち上げました。

主な活動は返却された本を元の本棚に戻すことです。火曜日を活動日に行っているのは、前日の月曜日が休館である場合、ブックポストに返却される本が多いためです。

開館前の利用者の方が見ていないところで、図書館を利用しやすくする活動をしています。このほか、「本棚」の活動では、館内にあるリサイクル本棚の整理や、宅配サービスへの協力なども行っています。

◆おはなし会ボランティア

～おはなし会で子どもたちに

喜んでもらっています～

図書館では、子ども年齢層に合わせ、いくつかのおはなし会を行っています。



このおはなし会に協力していただいているのが、ボランティアの方たちです。現在、図書館では、3団体のボランティアの方たちが協力して活動しています。

本館、分室、図書室のほか、学校でのおはなし会などで、子どもたちに絵本のおはなしをたくさん届けています。

大人にもおはなしを楽しんでもらいたいと最近発足したボランティアグループが「ほっとん」です。子どもたちに語りかけるのとはまた違った感じで、本の読み聞かせができるよう、日々、練習に励んでいます。

◆ハーブ園ボランティア

～屋上のハーブを育てています～

図書館屋上には「ハーブ園」があります。緑と香りを楽しめて、くつろげる空間です。

このハーブを育てているのが「ハーブはむら」の皆さんです。

今の図書館が建設される頃に公民館で開催されたハーブ教室に参加した人たちがグループを作り、「ハーブはむら」を立ち上げました。

ハーブの剪定をしたり、肥料を与えたり、また雑草を取ったりと、活動は一年を通して休むことはありません。毎年7月頃にハーブの鑑賞会を行って、来場される人たちにハーブティーのおもてなしなどもしています。



特集 文化の秋 読書と郷土学習

郷土博物館を知ろう

多摩川と緑に囲まれ、自然がいっぱいの郷土博物館。
郷土博物館では、どんな仕事をしているか、ちよつとご紹介します。

1. 資料をあつめる

羽村の自然、歴史、文化に関わる「モノ」と「情報」は、「博物館資料」として、市民の皆さんからご提供いただいたり、郷土博物館が独自で集めたりします。

集めた資料は、それぞれの特徴を踏まえて、自然や歴史、民俗など研究分野を決めて分類し、名称や大きさ、材質、形状、由来・来歴、採集地などの固有の情報を記録した台帳を作成します。

台帳ができると、資料に番号をつけてコンピュータに登録し、すぐ探せるようにします。郷土博物館には、こうして登録した資料が15万点以上所蔵されています。

2. 資料を保管する

「モノ」資料は、汚れやカビ、害虫などを取り除く「クリーニング」や「燻蒸」という作業のあと、種類に応じて、博物館内にある4つの収蔵庫に保存します。

古い写真や聞き取り調査の録音など、「情報」の資料は、できる限りデジタル化することで活用しやすくします。写真自体は「モノ」資料なので収蔵庫へ、デジタルデータはコンピュータなどで保存・管理します。



3. 資料を活用する

① 調査・研究

保管している資料は、その特徴に合わせて研究が進められます。古文書であれば歴史学、化石は地球科学、縄文式土器は考古学、古い農具は民俗学、というように、それぞれの分野の研究方法により資料の持っている文化的・学術的な価値を明らかにします。

② 紀要や資料集の発行

調査・研究の成果は、その内容を『郷土博物館紀要』や資料集などで広く公表し、社会の中で共有化できるようにします。

③ 展示・講座・体験学習会

公表した研究の成果は、よりわかりやすく皆さんにお伝えすることが大切です。研究した資料と合わせて、よりわかりやすく見ていただく方法が「展示」、主に言葉でお伝えする「講座」、実際に資料に触ったり使ったりして実感していただく「体験学習会」など、資料の特性と市民の皆さんのご要望を考えあわせて、具体的な資料の活用場を設定します。

◎ 学芸員に聞いてみよう！

学校の先生や図書館の司書は、それぞれを支える専門家ですが、博物館にも学芸員という専門家がいて、博物館資料の収集から保管、活用を手がけています。

「玉川上水」について勉強しているけど、どつして羽村が選ばれたのか？、「堰」ってなんだろう？」といった、皆さんからの質問に答えることも、学芸員の役割です。

羽村の自然や歴史、文化について疑問・質問を持ったことはありませんか。

そういう時は、郷土博物館で学芸員にたずねてみてください。

学芸員には、それぞれ専門にする分野がありますから、すべての質問にその場でお答えすることはできないかもしれませんが、他の学芸員や、場合によっては外部の専門家の協力を得て、質問にお答えしています。

【問合せ】

郷土博物館 ☎5558-2561

紹介します!小中一貫教育の取組み つなごう∞育てよう∞いっしょに

■中学校3学期制移行に関するQ&A■

Q どのように中学校の3学期制が決定したのですか?

A 市では、平成27年7月から翌年3月までの間、2学期制検証委員会を設置しました。2学期制について検証を行い、検証委員会からの提言としてまとめられました。その提言では、小学校では2学期制を継続、中学校は2学期制の良さを活かした『新たな3学期制』が示されました。

提言について学校からの意見を聴取しながら、「中学校は、平成30年4月から『新たな3学期制』へ移行し、小学校は2学期制を継続する。」ことを平成28年度に決定しました。

Q 『新たな3学期制』とは何ですか?

A 以前の3学期制から2学期制に移行する際、長期休業期間中であつても、常に学習は続くという考え方が、導入されました。このことにより、長期休業期間に対する意識が変わり、様々な特色ある教育活動を各校が創意工夫して行ってきた経緯があります。今回、以前の3学期に戻すということではなく、『新たな3学期制』として、これからの成果や取組みを継承していきます。

Q なぜ小学校と中学校では学期が違うのですか?

A 小中一貫教育9年間の取組みの中で、児童・生徒の発達段階に応じた評価期間(学期制)を設定し、その成長を見取っていきます。

このことから、小学校では、「個性の形成期」として捉え、挨拶などの生活指導、学習への意欲を養う期間として、これからも2学期制の長い期間(おおむね6か月)の中で、じっくりと育成します。

中学校では、小学校で育成された土台をもとに、「個性の発展期」として捉え、3学期制の短い期間(おおむね3〜4か月)の中で、自分の学習を振り返ることで、生徒自らの成長へとつなげていきます。

Q 中学校の学校行事などはどのように変わりますか?

A 現在の実施時期と大きく変わることはありません。

具体的には、定期考査、長期休業日(夏休み・冬休み・春休み)、修学旅行、移動教室(スキー教室)、体育大会、職場体験などの主要な学校行事について、大きくは変わりません。

また、小・中学校の連携事業も継続していきます。

平成30年4月から、中学校は、これまでの2学期制の良さを活かした『新たな3学期制』へ移行します

※小学校は、今までどおり2学期制を継続します

すでにお知らせしているところですが、羽村市におけるこれからの学期制について、改めてお知らせします。市では、平成30年度から、中学校は『新たな3学期制』に移行します。(小学校は、今までどおり2学期制を継続します) また、平成29年度を準備期間として、小・中学校と教育委員会が連携して移行準備を進めています。これからも、小中一貫教育9年間の取組みを柱に、児童・生徒をきめ細かく指導・評価し、その成長を見取っていきます。



【問合せ】
学校教育課指導係 (内線376)

稲作体験の記録

羽村市では、農業について学び、米作りの工夫や農家の人たちの努力について、体験をとおして理解を深めることを目的として、羽村市青少年対策地区委員会連絡協議会の協力のもと、稲作体験を実施しています。

6月 田植え体験

みんなで田植えを行いました。
協力して苗をきれいに植えています。1束ずつ植えるのは大変です。



収穫した稲は、脱穀して精米し、おいしくいただけます。
田植えや稲刈りなどの稲作体験を行うことで、食べ物の大切さや農業の重要性を学ぶことができました。

10月 稲刈り体験

みんなで植えた苗が大きくなり、たくさん収穫できました。
刈り取った稲は、束にして、天日干しをします。



【問合せ】 学校教育課指導係（内線376）

11月1日(水)～7日(火) 「文化財保護強調週間」

「文化財保護強調週間」にあわせ、市内の文化財の公開を行っています。

ガイドブック「東京文化財ウィーク2017」を片手に、深まりゆく秋の一日、みなさんも文化財散歩を楽しんでみてはいかがでしょうか。

【羽村市の公開文化財】

- 特別天然記念物 タンチョウウ(動物公園)
- 国指定天然記念物 シヤモほか日本鶏8種類(動物公園)
- 国指定史跡 玉川上水
- 重要有形民俗文化財 羽村の民家(旧下田家住宅)とその生活用具(郷土博物館)
- 都指定有形文化財 阿蘇神社本殿(羽村市羽加美4-16-1)
- 都指定天然記念物 阿蘇神社のシイ(羽村市羽加美4-16-1)

【企画事業】

- 特別展「食事の道具ーデザインと機能から見た羽村のくらしー」
12月23日(土・祝)まで開催
中(郷土博物館)

【ガイドブック配布場所】

- 市役所1階案内、動物公園、郷土博物館

【問合せ】 郷土博物館

☎5558-2561

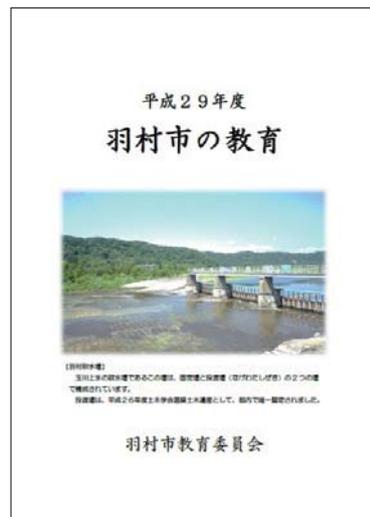


▲旧下田家住宅

『羽村市の教育』(冊子)を発行しました

羽村市教育委員会では、教育目標や教育大綱、各施設に関する情報のほか、平成29年度に取り組む主な事務事業などをまとめた「羽村市の教育」(冊子)を発行しました。

「羽村市の教育」は、市公式サイトに掲載していますので、ぜひご覧ください。



【問合せ】生涯学習総務課総務係 (内線353)

小学校教科用図書(道徳)が決まりました

平成30年度から使用する小学校の教科用図書が、平成29年8月15日の教育委員会(定例会)において採択されましたのでお知らせします。

採択された教科用図書は、次のとおりです。

【小学校教科用図書(道徳)採択結果】

教科名	道徳
発行者名	学校図書株式会社
教科書名	かがやけみらい

【問合せ】学校教育課指導係 (内線376)



暮らしに役立つ講座を出前します!!

市民の皆さんが主催する学習会などに、市の職員などが講師として出向く「まちづくり出前講座」をご紹介します。

市政についてはもちろんのこと、福生警察署や東京都行政書士会などの職員が講師となる講座のメニューを充実させ、全82メニューの講座を用意しています。

また、メニューにない内容の講座をご希望の場合も、可能な限り対応しますので、ぜひお気軽にご相談ください。

■申し込むには・・・?

10人以上(市内在住者・在勤者)が集まり、会場(市内)を手に配っていただければごなたでもお申込みいただけます。

※詳しくは、市公式サイトまたは直接お問い合わせください。

詳しくは、市役所、ゆとろぎ、図書館、スポーツセンター、郷土博物館で配布しています「まちづくり出前講座～menu～」をご覧ください。(市の公式サイトにも掲載しています)

羽村市生涯学習

まちづくり出前講座

～menu～

平成29年度版

市民のみなさんが知りたい・聞きたい情報についての講座をメニューの中から選んでお申込みいただくと、市の職員や官公署等の職員が講座の出前をいたします。

講座は全82メニュー!!
無料で講座の出前をします!
メニューにない講座でも可能な限り対応しますので、お気軽にお問い合わせください。

【問合せ】生涯学習総務課生涯学習推進係 (内線363)

地域活躍シリーズ⑥

『ラジオ体操ランティア』 浅見貞さん (85歳)

毎朝6時30分から、富士見公園において、ラジオ体操指導を昭和52年から40年間行っています。

ラジオ体操は、7、8月の夏休み期間というイメージがありますが、浅見さんは年中無休でラジオ体操指導を行い、地域の多くの皆さんが参加しています。取材当日の参加者は90人を超えていました。

毎年元旦には、皆さんでラジオ体操をして、初日の出を迎えています。



▲ラジオ体操の様子



〈浅見さんより〉

参加者の皆さんには、ラジオ体操の音楽に合わせて楽しく個々に体を動かしてもらっています。

元気で動けるのはラジオ体操のおかげで、毎日の継続が大切です。私の人生は、生涯ラジオ体操です。

ワンポイントアドバイス
体幹をまっすぐに整えてからラジオ体操を始めましょう。

参加者の皆さんは、清々しい表情で、元氣いっぱいでした。皆さんも朝の10分間、ラジオ体操で一日をスタートしてみたいかがでしょうか。
※雨の日はお休みです。

〈参加者の声〉

- ラジオ体操のおかげで、毎日元氣です。
- 参加者同士で顔見知りになり、お互いの元氣を確認することが出来ます。
- ラジオ体操の前後に歩くようにしています。歩く良いきっかけにもなっています。



【問合せ】

生涯学習総務課
総務係 (内線353)

教育随想

3Sから3Cへ・英語教科化に向けて

仕事柄、歯科医学に関する国際会議に出席しています。日本からも沢山の人が参加している国際会議は、英語が公用語として使われています。そのような中で、仲良くしている海外の友人から「日本人は3Sだからね」と言われたことがあります。3Sとは、スマイル・サイレント・スリープの頭文字を取ったものです。いつも微笑んでいて何も話さず、そして眠ってしまう、というのが会議に出ている日本人だとの意味です。

沈黙は金と言われますが、国際会議では沈黙は恥じです。討論の場では、微笑みも美德にはなりません。眠るのであれば会議に出る必要はありません。何故か妙に納得した日本人の例えでした。

羽村市は小学校1年生から英語活動に取り組んでいます。もうすぐ始まる小学校の英語教科化では、小学生の間に約700語の英語に触れることとなります。この英語教科化を良い刺激にして、羽村の子どもたちには様々な国の人々と共通語で話し合い未来を創造する、3C(クロスカルチャー・コミュニケーション・クリエイティブ)と呼ばれるような、そんな大人になって欲しいと思います。



教育委員会委員 羽村 章

特定非営利活動法人羽村市体育協会および羽村市文化協会は、市や教育委員会と協働して、市のスポーツや文化を推進していくための団体です。

特定非営利活動法人

羽村市体育協会

TEL 555-11698

「第31回羽村市ふれあい綱引き大会」
— 東京都綱引連盟会長杯争奪 —

- 主催 羽村市教育委員会
- 主管 NPO法人羽村市体育協会
- 日時 平成30年1月28日（日）
- 会場 スポーツセンター
- 集合 正午
- 予定 開会式 午後0時30分
競技開始 午後1時
閉会式 午後4時30分（予定）
- 部門
 - ①町内会・自治会男子の部
 - ②一般男子の部
 - ③女子の部
 - （一般、町内会・自治会）
 - ④混合の部
（中学生以上）
 - ⑤小学生の部
（4年生以上の男女）

※詳しくは、広報はむら12月15日号
をご覧ください。



羽村市文化協会

TEL 090-55510-0191

羽村市文化祭 特別企画
— 楽しく学び 創る つなごう 文化の輪 —

【音楽公演】 ゆとろぎオペラ「椿姫」

市民合唱団がプロの声楽家と共にオペラの名作に挑戦！

昨年、初めて市民合唱団を結成しプロの声楽家と共演し大好評を得た創作ファンタジー音楽劇「水の女神アルマ」玉川上水誕生物語」に引き続き、公募の市民合唱団を結成し、今年はおペラに挑戦します。

この「椿姫」は羽村市の姉妹都市である山梨県北杜市で毎年開催されている「八ヶ岳音楽祭」の今年のオペラ公演と同じ演目で、羽村市と同じく公募の北杜市民合唱団が出演されています。

- 日時 11月3日（金・祝） 午後2時開演
 - 会場 ゆとろぎ大ホール
 - 全席指定・前売券 大人1000円
 - 当日券 大人1200円
 - 高校生以下500円
 - 主催 第48回羽村市文化祭実行委員会
 - 後援 羽村市、羽村市教育委員会、羽村市文化協会
- 満員になり次第締め切ります。

INFORMATION

羽村市役所（代表）Tel 555-1111

生涯学習センターゆとろぎ	Tel 570-0707	羽村東小学校	Tel 554-5663	武蔵野小学校	Tel 555-6904
図書館	Tel 554-2280	羽村西小学校	Tel 554-2034	羽村第一中学校	Tel 554-2012
郷土博物館	Tel 558-2561	富士見小学校	Tel 554-6449	羽村第二中学校	Tel 554-2041
スポーツセンター	Tel 555-0033	栄小学校	Tel 554-2024	羽村第三中学校	Tel 555-5131
スイミングセンター	Tel 579-3210	松林小学校	Tel 554-7800	教育相談室	Tel 554-1223
弓道場	Tel 555-9255	小作台小学校	Tel 554-1431	適応指導教室	Tel 554-1331
				ハーモニースクールはむら	